

報社神社祖天神明上

第194号 平成26年7月1日



社頭所感

天祖神社宮司 齊藤泰之

神社に参拝すると、ほとんどの御本殿の前に左右それぞれに青赤黄白紫の五色の幡と、向って右には鏡と玉、左には同じく剣を吊り下げた真榊まきかきと呼ばれるものが立てられています。これらは神道の理念を象徴するもので、日本の神話時代にまでさかのぼる古い歴史をもっております。この五色の幡は陰陽五行いんようごぎょうの思想にもとづくもので、青は青々と繁る木の色、赤は火の色、黄は土、白は光、紫は水を表すとされ、五色の幡を懸けると「願いが叶う」とされ伊勢神宮の遷宮の最初の神事、御用材を伐りだすにあたっての山口祭で用いることが記されています。

すなわち、揺るぎない大地と順調な四季の移ろいの中で、自然の一部として生かされている自分を自覚し、無理のない生き方をすることが幸せの原点であることを示しているのです。

また、共に吊るされている鏡は正直、剣は慈悲、玉は知恵、あるいは鏡は徳、剣は正義、玉は生命力の象徴ともいわれ、天地自然・万物の運行の法則を表す五色の幡とあわせて、私達が歩む神の道、人生のありようを示しているのです。

私達は、自然の営みにならない、芽生えの春、生育の夏、実りの秋、休息の冬、若者は若者らしく勉強に励み、壮年はしっかり働き、熟年は豊かな実りを楽しみ、晩節を迎え次の世代の芽吹きの手助けをする。その年齢や立場に合った「らしき生き方」を心がけることが大切なのです。

荏原消防団第四分団

荏原消防団消防操法審査会

三年連続優勝を達成される

去る六月十五日(日)に行われた、荏原消防団消防操法審査会に於いて、荏原消防団第四分団(伯耆原分団長)は、見事優勝されました。

震災後、防災について意識が高まる中で、三年連続優勝という偉業を達成された事は、地元の誇りであります。謹んで祝意を表します。

来たる十月に行われる、都大会に品川区を代表して出場されるそうです。ご健闘を心からお祈り申し上げます。

宮司



夏越大祓 茅の輪くぐり

六月三十日午後六時より大祓式が執り行われ、多くの方々のご参列者の中、茅の輪をくぐって、各自の諸々の禍祓い無病息災を祈りました。

茅の輪作りは、櫻井宮頭・神輿連合会有志の皆様方により、御奉製下さいました。暑い中の作業でしたが、今年も立派な素晴らしい茅の輪が出来上がりました。皆様の信心なるご尽力により厚く御礼申し上げます。

七月五日(土)に白子海岸へ、皆様の心身の汚れを移した形代を流す神事が行われます。

※ 茅の輪くぐりは、七月七日(月)七夕までくぐれます。

月次祭

当社では毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行います。当日は御神前にて祭儀を厳修し参列者一同で「大祓詞」を奉唱し、次いで社務所にて「朝粥」を食し歓談いたします。

★五月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、高須みちよ様、柵木ヒサ様、井淵良子様、柴田よし子様、川瀬次夫様、工藤秋光様、井口依子様

★六月一日に参列なさった方々のご芳名

矢羽直公様、金子省太郎様、磯 昭夫様、川瀬次夫様、豊川恭弘様、濱田一己様、千葉信昭様、清水庄司様、武内達治様、高須みちよ様、吉川トミ様、野秋くに様、井淵良子様、井口依子様、柵木ヒサ様、富田登美子様、青柳富子様、白土政枝様、柴田よし子様、工藤秋光様



平成二十六年度 天祖神社氏子総代会開催される

去る五月二十九日氏子総代会総会が開催されました。宮司、総代会会長挨拶の後、新責任役員、神輿総代のご紹介並びに委託状の伝達が行われました。責任役員は、豊六丁目会々長 石田利男様、神輿総代は、二葉四睦会々長 濱田一己様です。

平成二十五年度事業・決算報告並びに、平成二十六年年度事業・予算案が承認されました。

各地区敬老クラブ境内清掃奉仕

毎月十日は各地区老人クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月も各地区より皆様が集まり境内清掃奉仕をなさって下さいました。誠に有難うございます。

五月十日奉仕の方々のご芳名

豊町六丁目 森下とよ子様、若山美智代様
二葉三丁目 中島千恵子様、岸 寿江様
戸越六丁目 広瀬ひろ子様、酒井レイ子様
二葉四丁目 上原美津子様、福村 信子様
豊町五丁目 相澤りつ子様、窪田芙美子様

六月十日奉仕の方々のご芳名

二葉四丁目 福田喜美恵様
二葉三丁目 有路キヨエ様、渋井 ミツ様
戸越六丁目 角木千鶴子様、長倉 康子様
豊町六丁目 松下 咲代様、渋井 和子様
豊町五丁目 阿部イキ子様、佐久間梅子様

平成二十六年

例大祭執行について

来る七月十五日氏子総代会を開催し、今年度の例大祭予算案等につき御協議いたします。

氏子の皆様には、多大なる御理解・御協力賜り、楽しく実りある祭礼となりますようお願い申し上げます。

初宮参り

平成二十六年四月以降、初宮参りに当社をご参拝なされた方々のご芳名を列記し、蛇窪大明神のご加護を心よりお祈り申し上げます。

福田 楓 君 渡邊杏那 ちゃん
安積咲良 ちゃん 小澤悠馬 君
天坂凜花 ちゃん 佐藤玖馬 君
佐藤日香 ちゃん 湯澤 律 君
遠藤魁十 君 羽鳥綾乃 ちゃん
渡邊夕子 ちゃん 米原京助 君
笹原翔太 君

生命の言葉(七月)

世の中に人をそだつる心こそ

我をそだつる心なりけれ

荒木田守武

人を育てる心は、すなわち自らを育てる心につながる。
人を育てることは、自らの成長でもある。

出典『世中百首』

荒木田守武(あらかぎだ もりたけ)

1473〜1549年。伊勢皇大神宮の神官。神宮在職中は争乱相次ぐ戦国の世で式年遷宮も中絶したが、仮殿遷宮祭を奉仕する等、神宮奉護に力を尽くした。また神明奉仕の傍ら俳諧連歌に取り組み、山崎宗鑑と並ぶ俳諧連歌の祖として仰がれた。

山梔子の白い花咲くこの季節ご参拝の皆さまに「幸多かれ」と祈ります

七夕祭り

七夕(たなばた)の季節になりました。天祖神社では拝殿の前に笹竹を立て「短冊」に願い事を書いてつけて祈る行事を行います。七夕は食物の成長を感謝する収穫祭と、お盆に柵機女と呼ばれる娘が御霊の衣服を織り柵に供え、村の穢れを祓うという二つの行事に由来しています。

この二つに、大陸から伝わった織姫(織女星)彦星(牽牛星)が一年に一度だけ天の川を渡って会えることが許されるという「星まつり」と、織物上手だった織女星にあやかり裁縫の上達を願う行事「乞巧奠」が合わさって、現在のようなかたちになりました。

《神社ホームページ是非ご覧下さい。》

<http://www.hebikubo.jp>

駐車場空あります

〒一四二一〇〇四三

東京都品川区二葉四一四一十二

天祖神社々務所

TEL 〇三(三七八二)一七一

FAX 〇三(三七八二)一七一